

ペスタロッチ館 コーナー

～催し物の案内・お知らせ～

夏休みわくわく 親子工作&映画会

家族そろってお越しください。

親子工作

- と き：8月27日（土）
午後1時30分から
- ところ：ペスタロッチ館
体験学習室
- 対 象：小学生4年生以上
（先着20名）
- 内 容：ドキドキ妖怪切り紙
※保護者の方、同伴でお越し
ください。
- 申し込み先：
鏡野町立図書館
TEL 0868-54-7700
FAX 0868-54-7755



映画会

- と き：8月27日（土）
午後3時から
（開場は午後2時30分）
- ところ：ペスタロッチ館夢ホール
（84席）
- 対 象：小学生以下の子どもと家族
- 内 容：ジャングル大帝
（・誕生・約束）約50分
※入場ご希望の方は、当日、会場へお
越しください。

【お問い合わせ先】鏡野町教育委員会 生涯学習課（担当：小椋） TEL.0868-54-7733 FAX.0868-54-3335
ペスタロッチ館は、月曜日と祝日、および月曜日が祝日のときの翌火曜日を休館させていただきます。

館長のガラストーク



女王陛下のバーミーズ
19世紀末 イギリス

先月はロシア皇帝のゴブレットについてお話ししましたが、今月はイギリスのヴィクトリア女王（在位1837～1901年）にちなむ「バーミーズガラス」のエピソードをご紹介します。

クリーム色の器胎に木の枝が描かれたこの花瓶の口周りは少し朱がかったピンク色をしています。ウランガラスというと緑や黄色を連想しますが、このピンク色も実はウランガラスなのです。1880年代半ばにアメリカのフレデリック・シャーレイがガラスの中に金の微粒子を加えて発色に成功したもので、後に製法特許を取得しています。

1886年、アメリカを訪れたヴィクトリア女王は、この色の紅茶茶碗と皿のセットを贈られて「まるでビルマの夕日の色（Burmese sunset：バーミーズサンセット）みたい!」と感嘆されたそうです。そこからこの系列の作品を「ビルマのガラス：Burmese Glass（バーミーズガラス）」と呼ぶようになりました。これを聞いたイギリスのトマス・ウェブ&サン社がアメリカの製造元と契約を結んで「女王陛下のバーミーズ」と名付けて販売し、大変人気を博したといわれています。

1900年頃に一旦生産が中止されましたが、アメリカのフェントン社では20世紀半ばから今日に至るまでこの作品を作り続けています。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

<展覧会情報> 「エピソードでたどる…ウランガラスの世界」展
2011年3月30日（水）～2011年9月26日（月）

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話（0868）44-7888